

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	内線 2222
部 名	総務部	課 名	総務課情報公開室	課長名	北澤 邦夫
事務事業名	行政資料コーナー運営				
予算上の事務事業名	公文書公開制度運営費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		16310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第6章 彩りのある市民文化を創造します				
基本施策名	第3節 文化的視点に立った行政の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 文化的視点に立った行政の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
行政資料コーナー管理規程					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 記録・統計・保存 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
<p>市政をより深く理解していただくため、市の刊行物を中心に約16,000点の資料を揃え、資料の閲覧、複写、貸出しや有償刊行物の販売を行っている。</p>			<p>行政資料を必要としている人</p>		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>各課機関の長に対して「行政資料コーナーにおける行政資料の収集について」という通知を出し、資料の収集に努めた。また、行政資料コーナー用図書として、「全国市町村要覧」「経済財政白書」「路線価図」等35冊の図書を購入した。平成14年度からは、従来の神奈川県に加えて、町田市、津久井郡4町との資料交換を実施している。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他都市もおおむね同様の事業を実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	114	113	100	143	143
一般財源	114	113	100	143	143
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	19,080	18,700	9,571	9,571	9,571
事業コスト合計(a)	19,194	18,813	9,671	9,714	9,714
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	行政資料コーナー運営			対象名称(単位)	行政資料を必要としている人(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	19,194	18,813	9,671	9,714	9,714
対象数	19,397	19,643	19,489	20,000	20,000
単位あたり経費(円)	990	958	496	486	486
前年度比		0.97	0.52	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	収集資料数		指標式と指標の説明	収集資料数÷収集目標資料数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	14,044.0	15,130.0	16,390.0		
目標	11,500.0	13,000.0	14,500.0	17,000.0	18,000.0
目標達成度	1.22	1.16	1.13		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	行政資料コーナー利用件数		指標式と指標の説明	利用実績人数÷目標利用人数×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	19397.0	19643.0	19489.0		
目標	19000.0	19100.0	19200.0	19500.0	19600.0
目標達成度	102.1	102.8	101.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		他自治体の有償刊行物等、本市の行政資料コーナーで対応できないものもあるが、殆どの要求に対応できていると思われる。更なる資料の収集に努め、利用者の要求に応えていきたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 各所属からの自発的な行政資料の提供。（行政資料の提供を呼びかける通知を年2回出し、意識啓発を図っている。）			14 課題として認識されたこと 収集漏れが予防されるよう、刊行物作成の流れの見直しを含めて研究が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			